

一日の生活イメージ

患者さんは一日をどのように過ごされているか、一例を示します。

6時起床、9時就寝とした場合、セラピストのリハビリテーションは2時間から3時間、病棟スタッフとのリハビリテーションは1時間程度、自主練習(ロボットリハビリ含む)も1時間程度とすると、約5時間となり、活動時間の3分の1はリハビリテーションをしていることになります。

さらに、トイレや食事などの日常生活動作にも介助が必要な患者さんは、それ自体もリハビリテーションとなります。

